

西宮市立甲陵中学校 3年 部長 パーカッション

私は今、心を弾ませています。

笑顔の仲間とアドバイスをし合い、楽器を使って練習できる事が今はとても楽しいです。

約3ヶ月間の部活停止中、コンクールが中止になったと聞いた時は、練習を続ける意味が分からなくなりました。しかし、心配して連絡下さる先輩方からの励まし、仲間や家族との会話、そして何より顧問の先生から届いたメッセージによって、コンクールとは違う目指すべきものを見つけることが出来ました。

先生のメッセージの中に「目の前にあることを全力で取り組む」という言葉がありました。今まで何度も聞いていた言葉でしたが、当時の私と今の私に、これからの部活動への希望を与えてくれました。

今は目の前の事に全力で、置かれた環境の中でチームとして成長を続け、残りの時間最後まで走りきります。「史上最響」 みんなで決めた部訓に向かって。

甲子園学院中学校高等学校 3年 部長 アルトサキソフォン

大会が中止になるなんて考えたこともなかった。まさに、青天の霹靂…ことばも出なかった。私たちにあって大切なもの、大きな存在だ。日々の努力が認められ、仲間と切磋琢磨しあい、そして、成長できる場所。高校生活最後の舞台。多くの仲間にとって人生最後のなるはずだったステージ。それがなくなった。誰が悪いわけでもない…だからこそ、どこへぶつけていいかわからない悔しさ、もどかしさ。合奏どころか、練習すらもままならなくなり全てをうばわれた感じがした。だが、ここで諦めたくなかった。私の、私たちの夢を…こんな時だからこそ、みんなを前に向いて「音楽を楽しもう」と思った。強くなれた気がする。いや、強くなれた。今だからこそ、仲間と音楽を楽しむこと、合奏できる楽しさ、すばらしさに気づけた。少しずつ緩和される状況ではあるが、まだまだ安堵できない。

大会中止はたしかにつらい現実であるが、私たちの絆は強くなったと信じている。仲間とともに進んでいきたい。

関西学院高等部 3年 部長 パーカッション

この様な機会を作って頂きありがとうございます。

昨年夏から準備を進めていた定期演奏会や、集大成であるコンクールの中止が決まり、顧問の先生をはじめ、部員一同とてもショックを受けました。努力してもどうにもならない事態に初めて直面した瞬間だったと思います。開催されること、目標を掲げて皆で歩いていくことが当たり前とと思っていた、「普通」の日々はどんなに素晴らしくありがたい時間だったのかを身をもって感じました。

私達は、許可が下りず 7月20日時点でまだ一切演奏活動が再開出来ていません。3年生は、いつか共に再演奏できることを願いつつ7月末で引退することが決まりました。

しかし、何があっても皆と過ごした日々がかけがえのない幸せなものであったことに変わりはありません。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

事態の一日も早い収束と、全ての吹奏楽部のますますの活躍を祈っております。

三田学園中学校・高等学校吹奏楽部 3年生 部長 クラリネット

私たち三田学園吹奏楽部は7月に演奏会を開くことになりました。今はその演奏会をモチベーションに、練習に励んでいます。練習が再開して約1か月。最初は部活が始まったにもかかわらず個人練習しかできず、近くからは色々な音が聞こえているのに一緒に練習できないことに、もどかしさを感じていました。その分4か月ぶりの合奏で感じた喜びは、言葉では言い表せないものでした。

このような状況を経験して、私の中にあった「吹奏楽をしている上で合奏できることは当たり前だ」という考えががらりと変わりました。もちろん、ただ楽器を吹くだけなら一人で家で吹くこともできます。しかし個人練習では感じられない、音が重なっていく美しさこそが吹奏楽における一番の魅力なんだと改めて思いました。

引退まで残された時間は短いですが、その中で周りの音との調和を楽しみながら音楽を創ることに全力を尽くそうと思います。